

【SPS 講座（普通・上級救命講習）報告】

実施日：令和 8 年 8 月 25 日（火）12:45 - 14:00

令和 8 年 8 月 28 日（金） 9:00 - 14:00

内容（概要）：松戸市中央消防署のご協力のもと、普通救命講習・上級救命講習を実施しました。普通・上級救命講習併せて、中学 1 年生～3 年生の希望者 17 名が参加しました。

今回の講習で学んだ一次救命処置とは、突然倒れた人などに対して、救急車が到着するまでの間に行う胸骨圧迫や AED の使用など、命を救うために必要な処置のことです。参加者は、事前に Web 上で救命に関する動画を視聴し、確認テストを受けたうえで講習に臨みました。



講習では、普通救命講習・上級救命講習ともに、参加者一人につき一体の人形を用意していただき、胸骨圧迫や AED の操作などを実際に体験しました。一人ひとりが十分に練習することができ、より実践的に救命処置を学ぶことができました。

特に印象に残ったのは、救急車が到着するまでの約 8～10 分間を想定して、胸骨圧迫を続ける練習です。実際に胸骨圧迫を続けてみると、2～3 人で交代しながら行っても、救急車が到着するまで続けることの大変さを実感しました。

上級救命講習では、普通救命講習の内容に加えて、より実践的な心肺蘇生法や、三角巾を使った止血法・包帯法を学びました。また、一人で行う搬送方法や複数で行う搬送方法にも挑戦しました。さらに、熱傷や熱中症についての知識も学び、さまざまな場面で必要となる応急手当について理解を深めることができました。最後には、筆記テストと心肺蘇生法の実技テストも行われ、参加者全員が無事に講習を修了することができました。

今回の講習を通して、救命処置は「知っている」だけでなく、「実際にできる」ことが大切だと改めて感じました。いざというときに落ち着いて行動できるよう、今回学んだことをこれからの学校生活に生かしてもらえればと思います。